

第2回 防災講演会2024

「令和元年洪水から今後の防災を考える」と題して、当時の被害状況や大河津分水での対応状況についてご講演とパネルディスカッションを行いました。



日時：令和6年10月20日(日)13:30～16:00

会場：燕市分水公民館大ホール

人数：78名

講師：元信濃川河川事務所長 室永武司氏

長岡市危機管理監 野口和弘氏

燕市危機管理監 十河浩氏

主催：信濃川河川事務所

後援：長岡市、燕市



大河津分水で既往最大の水位を記録した令和元年洪水ということもあり、多くの方々からご来場いただきました。



開会に際して、信濃川河川事務所の福島所長より挨拶を申し上げました。



令和元年洪水の際に信濃川河川事務所を務めた室永氏より、信濃川の洪水特性や当時の事務所の対応を紹介しました。



続いて、長岡市危機管理監の野口氏より、長生橋などの当時の状況、令和元年洪水を踏まえた長岡方式の避難行動についてお話をいただきました。



燕市危機管理監の十河氏からは、当時の水防活動の様子、住宅地より水位が高くなった大河津分水路のほか、避難情報発令に至るまでの緊迫した状況を紹介いただきました。

大河津分水イベントレポート 2024



第2部のパネルディスカッションでは、当時の教訓を踏まえた減災・防災の取り組み、流域治水や今後の展望をテーマに議論いただきました。

パネリストの皆さん（敬称略）

- ・コーディネーター 佐野 護
- ・パネリスト 室永 武司
野口 和弘
十河 浩
佐藤 雅人
福島 雅紀



コーディネーターを務めていただいたFMながおかの佐野 護氏



令和元年洪水の際に住民視点の情報を発信し続けたケンオー・ドットコムの佐藤 雅人氏



来場者の声

- ・ 台風19号洪水の頃、国・長岡市・燕市がどのように対応していたか当時を思い出しながら聞いていました。今日の講演、パネルディスカッションを通して、市民として洪水の時にどう行動するか、どう家族に行動させるか改めて考えてみたいと思います。
- ・ 知識と情報の重要性を再認識した講演会でした。長野の大雨が12時間後に大河津分水に到達することや、HPなどから降水量、水位を知り行動に繋げること・兆しを知ることの大切さを知ることが出来ました。
- ・ 当時の河川の状況は他の講演会や大河津資料館の資料で見聞きしていましたが、燕市の出水対応のお話が具体的で興味深かったです。



パネリストには信濃川河川事務所の福島所長も加わりました。